

お客さま本位の業務運営に関する
取組方針(アクションプラン)及び取組状況・指標(KPI)

2023年6月



京都銀行グループ※は金融庁が2017年3月公表した、国民の安定的な資産形成を図るための「顧客本位の業務運営にかかる原則」（以下、本原則）を採択し、従来よりお客さま本位の業務運営の実践に努めておりますが、資産形成・運用分野において、その実践をさらに徹底することにより、より一層お客さまに信頼され、信認を得られる銀行グループとなることを目指してまいります。

その結果として、地域の発展に永続的に貢献し、地域とともに成長を続けていくため、以下のとおり「お客さま本位の業務運営に関する基本方針（以下、本方針）」を制定し、企業文化としての定着をはかってまいります。また、本方針に基づいた「取組方針（アクションプラン）」及び指標（KPI）を、お客さまにわかりやすくご確認いただけるよう定期的に公表し、状況に応じて、見直しを行ってまいります。

※対象となるグループ会社：株式会社京都銀行、京銀証券株式会社

「顧客本位の業務運営にかかる原則」に基づく当行の基本方針
1. お客さまにとって最良の金融サービスの提供
2. お客さまにとって分かりやすい情報の提供
3. 利益相反の適切な管理
4. コンサルティング機能の強化、お客さま本位の業務運営に向けた体制整備

具体的な「取組方針（アクションプラン）」と具体的な取組状況は後述の通りです。取組方針に沿った具体的な計数指標は以下の通りです。計数指標については継続的に推移を確認し、お客さま本位の業務運営の取組に向けて活用してまいります。

具体的な計数指標一覧	
① 投資信託＋京銀証券預かり資産残高、取引先数	P 2
② 投資信託の平均保有期間	P 2
③ 投信自動積立、外貨普通預金自動積立サービス（月間振替額・契約先数）	P 3
④ つみたてNISAの残高・契約先数	P 3
⑤ 投資信託運用損益別お客さま比率（共通KPI）	P 4
（参考） ファンド別損益プラス先の平均保有期間割合	P 4
（参考） 長期・積立・分散項目別損益プラス先の比率	P 4
⑥ ファンドラップ運用損益別お客さま比率（共通KPI）	P 4
⑦ 投資信託預り残高上位20銘柄コスト・リターン（共通KPI）	P 5
⑧ 投資信託預り残高上位20銘柄リスク・リターン（共通KPI）	P 5
（参考） 投資信託預り残高上位20銘柄	P 6
⑨ 外貨建保険の運用評価別お客さま比率（共通KPI）	P 7
⑩ 外貨建保険の銘柄別コスト・リターン（共通KPI）	P 7
（参考） 外貨建保険預り残高上位20商品	P 8
⑪ お客さま向けセミナー開催回数	P 10
⑫ FP関連資格※取得者数	P 14
※CFP、AFP、1級・2級ファイナンシャル・プランニング（以下、FP）技能士	

基本方針 1. お客さまにとって最良の金融サービスの提供

<主な取組方針（アクションプラン）>

- 「お客さまにとっての最善の利益」を実現できるよう、お客さまとの対話を通じて、お客さまの意向や資産状況をよく知り、人生100年時代におけるライフステージに添った、適切な商品・サービスの提案を行います。
- 「銀行・証券・信託」の機能・サービスの充実を図り、あらゆる世代のお客さまの幅広いニーズに的確に対応してまいります。
- お客さまの長期安定的な資産形成を支援するため、長期・積立・分散投資の提案を行います。

<京都銀行グループで連携し、総合金融サービスを提供>



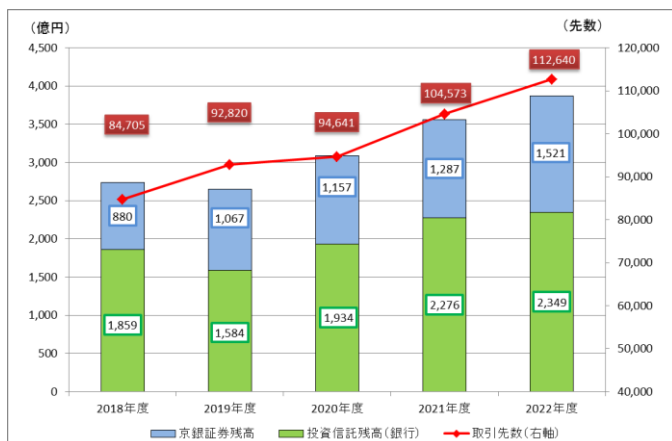
<取組状況>

- ◆新たな営業支援・顧客情報管理システム（CRM、愛称「クロスナビ」）の導入により、各種システムや担当者の頭の中などに散在する顧客情報・データを集約し、顧客情報の一元化を行い、より長期的な視点に立ったコンサルティング営業体制の構築を図っております。
- ◆「相続・資産承継ご相談プラザ京都北、及び京都中央」に続き、2023年4月には3拠点目となる「相続・資産承継ご相談プラザ京都南」を設置し、相続・資産承継関連業務を一層強化し、個別相談会やセミナー等を積極的に開催しております。

- ◆2022年10月に京銀ファンドラップを導入し、銀行・証券が連携することで幅広いニーズに対応できるよう取組んでおります。

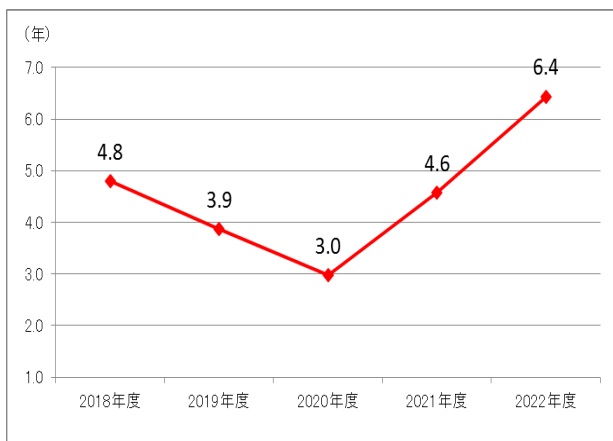
①投資信託+京銀証券預かり資産残高、取引先数※1

当行グループでの預かり資産残高及び取引先数は、順調に増加しております。



②投資信託の平均保有期間※2

長期的な視点に立った資産形成のご提案及びアフターフォローに努めた結果、平均保有期間は6.4年となりました。



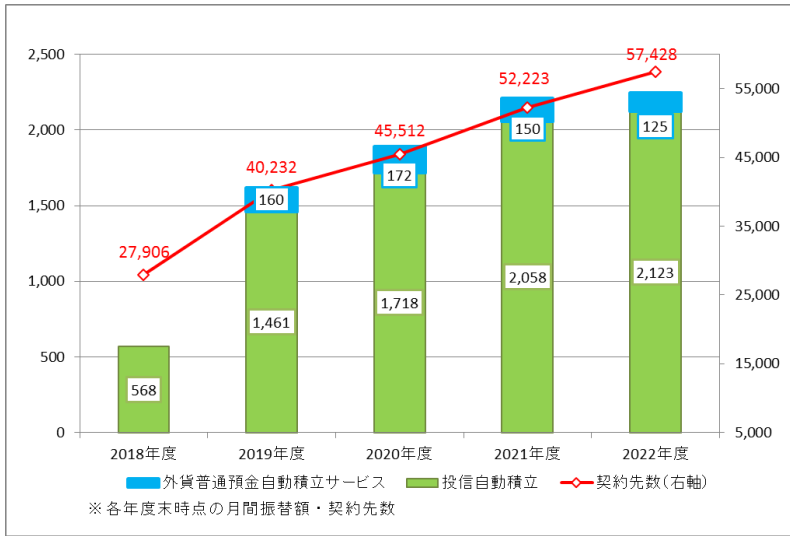
※1 取引先数は投資信託（銀行）、京銀証券の預かり資産残高があるお客さまの延べ人数

※2 平均保有期間 = (前年度末残高 + 年度末残高) ÷ 2 ÷ (年間解約額 + 年間償還額)

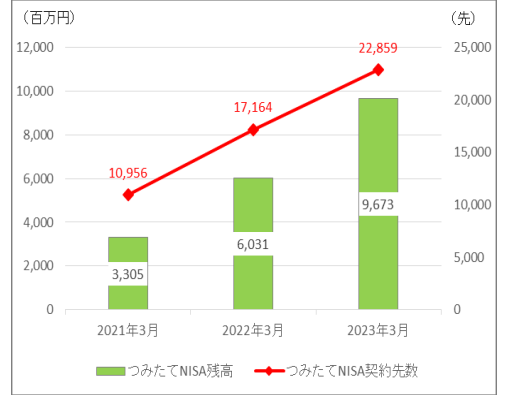
基本方針 1. お客さまにとって最良の金融サービスの提供

③投信自動積立、外貨普通預金自動積立サービス（月間振替額・契約先数）（左図）

長期安定的な資産形成を支援するため投信自動積立及び外貨普通預金自動積立サービス“ドルフィン”を積極的にご提案した結果、月間振替額・契約先数は増加しております。また、「これから資産形成をしていきたい」というお客さまには積極的につみたてNISAをご提案しており、つみたてNISAによる投信自動積立のご契約も増加しております。



④つみたてNISAの残高・契約先数

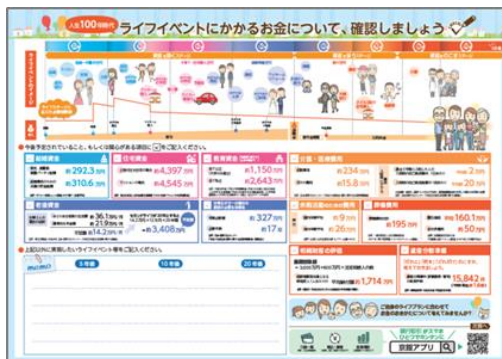


(参考) ポートフォリオ提案ツール

◆お客さまのご意向をしっかりと聞きし、将来に向けたライフプランに応じたポートフォリオのご提案を行っております。



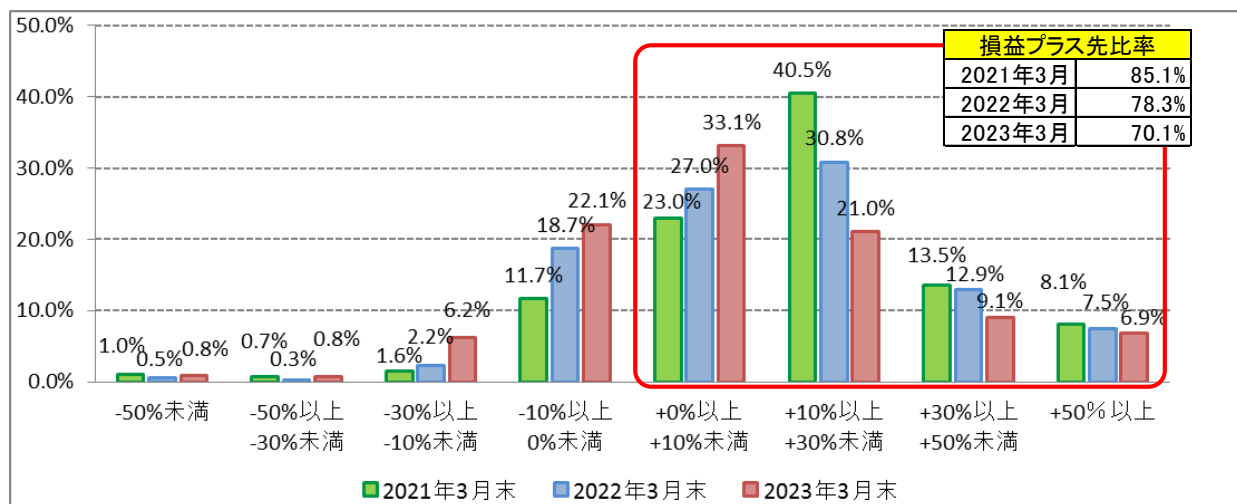
◆お客さま一人一人のお考えに沿ったご提案ができるよう、ライフプランご相談シートをご用意しております。



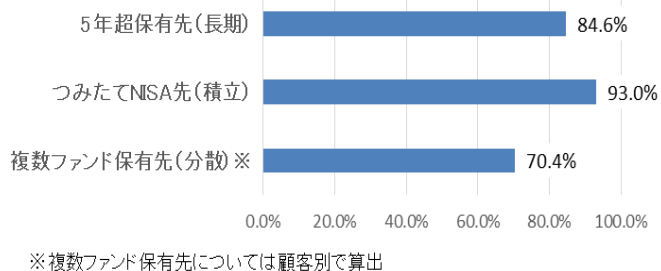
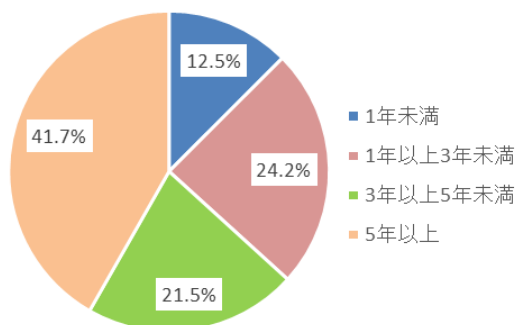
基本方針 1. お客様にとって最良の金融サービスの提供

⑤投資信託運用損益別お客さま比率（共通KPI）

2023年3月末時点の投資信託を保有されているお客さまの運用損益プラス先比率は全体の70.1%となりました。また、つみたてNISAをご利用のお客さまの損益プラス先比率は93.0%と比較的高い水準となっております。当行はお客さまの長期安定的な資産形成を支援する取組として有効な「長期・積立・分散」投資によるご提案を継続的に実施してまいります。

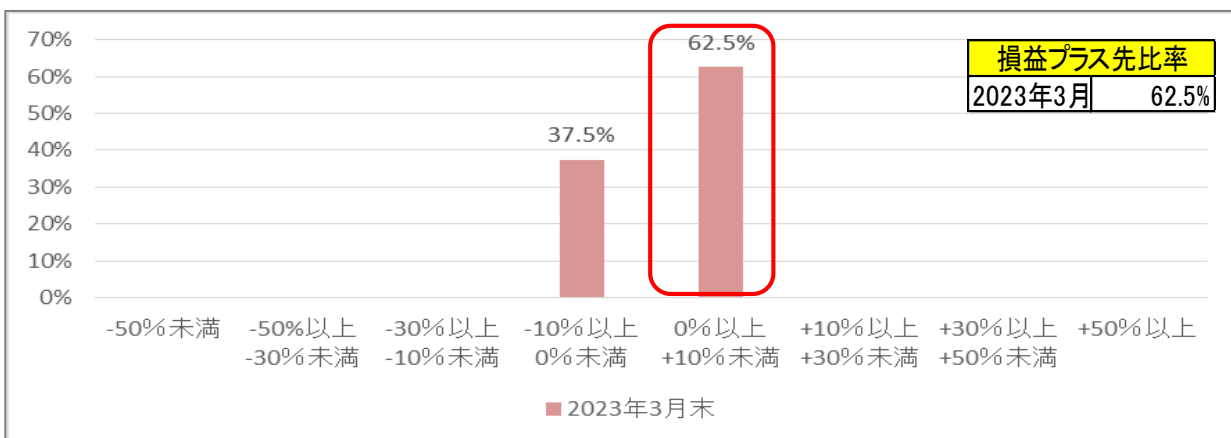


(参考)ファンド別損益プラス先の平均保有期間割合 (参考)長期・積立・分散項目別損益プラス先の比率 (2023年3月末)



⑥ファンドラップ運用損益別お客さま比率（共通KPI）

2022年10月よりサービスを開始し、2023年3月末時点でファンドラップを保有されているお客さまの運用損益プラス先比率は全体の62.5%となりました。



基本方針 1. お客さまにとって最良の金融サービスの提供

⑦⑧投資信託預り残高上位 20 銘柄コスト・リターン/リスク・リターン（共通 KPI）

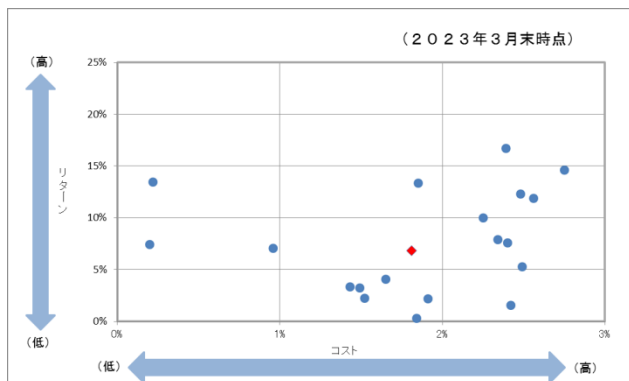
「投資信託の販売会社における比較可能な共通 KPI について」2018年6月に金融庁が公表した定義に沿って算出しております。残高上位 20 銘柄の平均コスト：1.81%、平均リターン：6.83%、平均リスク：15.71%となりました。

<コスト・リスク・リターン定義> (2023年3月末時点で、設定期間5年超のファンドのみ)

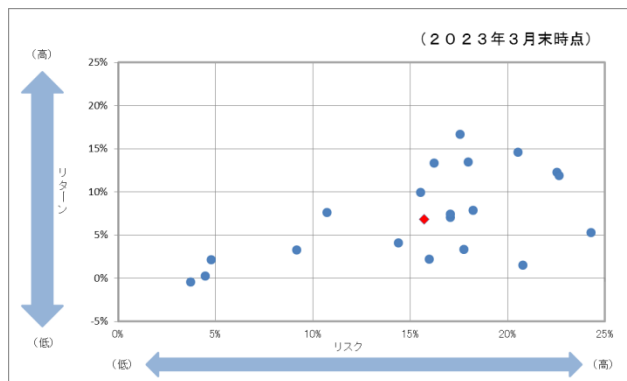
コスト：申込手数料率（税込）÷5年＋信託報酬率（税込・年率）

リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率）

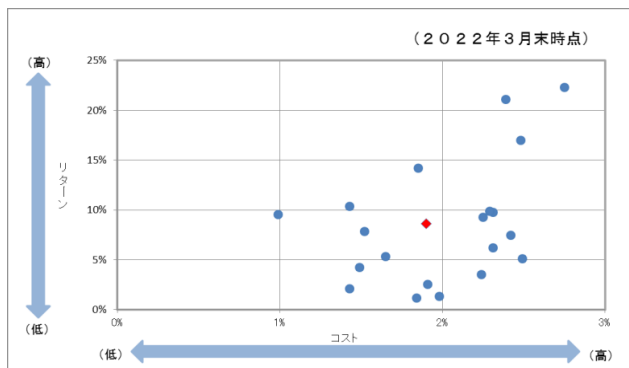
リターン：過去5年間のトータルリターン（年率）



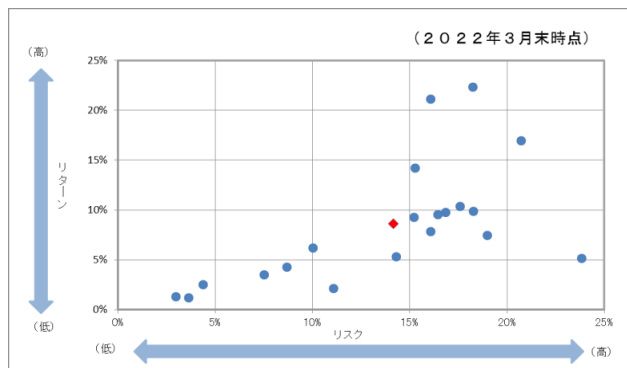
◆残高加重平均値	コスト	リターン
	1.81%	6.83%



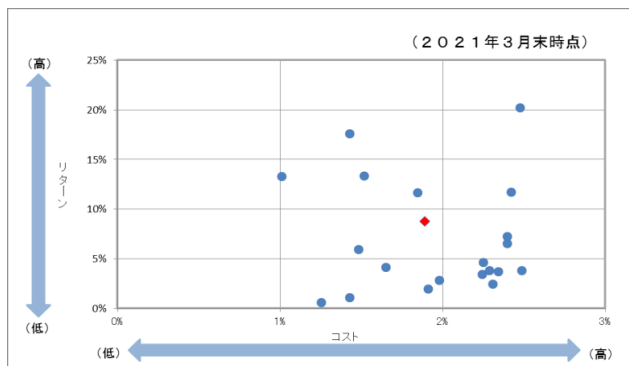
◆残高加重平均値	リスク	リターン
	15.71%	6.83%



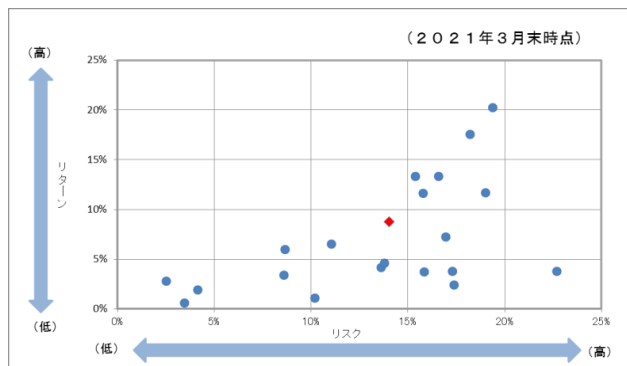
◆残高加重平均値	コスト	リターン
	1.90%	8.63%



◆残高加重平均値	リスク	リターン
	14.15%	8.63%



◆残高加重平均値	コスト	リターン
	1.89%	8.77%



◆残高加重平均値	リスク	リターン
	14.03%	8.77%

基本方針 1. お客さまにとって最良の金融サービスの提供

(参考) 投資信託預り残高上位 20 銘柄 (設定期間 5 年超のファンドのみ)

◆ 2023年3月末時点

順位	ファンド名	コスト	リターン	リスク
1	ストックインデックスファンド225	0.96%	7.07%	17.05%
2	ロボット・テクノロジー関連株ファンド	2.48%	12.30%	22.52%
3	京都・滋賀インデックスファンド 愛称「京(みやこ)ファンド」	1.43%	3.32%	17.76%
4	ビクテ・グローバル・インカム株式ファンド(毎月分配型)	2.25%	9.97%	15.54%
5	ひふみプラス	1.52%	2.23%	15.97%
6	ブレンドシックス	1.84%	0.29%	4.48%
7	投資のソムリエ	1.98%	-0.44%	3.72%
8	新光US-REITオープン 愛称「ゼウス」	2.34%	7.87%	18.22%
9	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	1.49%	3.25%	9.16%
10	AB米国成長株投信Dコース毎月決算型(為替ヘッジなし)予想	2.39%	16.69%	17.56%
11	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド(分配金:受取)	2.40%	7.59%	10.72%
12	ファイン・ブレンド(毎月分配型)	1.91%	2.16%	4.78%
13	netWIN GSテクノロジー株式F Bコース為替ヘッジなし	2.75%	14.60%	20.53%
14	グローバル自動運転関連株式ファンド(為替ヘッジなし)	2.56%	11.87%	22.65%
15	つみたて日本株式(日経平均)	0.20%	7.43%	17.06%
16	フランクリン・テンブルトン・オーストラリア高配当株(毎月)	2.49%	5.27%	24.29%
17	中華圏株式ファンド(毎月分配型) 愛称「チャイワン」	2.42%	1.52%	20.79%
18	つみたて先進国株式	0.22%	13.46%	17.97%
19	MHAM J-REITアクティブオープン毎月決算(物件満彩)	1.65%	4.09%	14.39%
20	グローバル好配当株オープン	1.85%	13.33%	16.21%
残高加重平均値		1.81%	6.83%	15.71%

◆ 2022年3月末時点

順位	ファンド名	コスト	リターン	リスク
1	ストックインデックスファンド225	0.99%	9.55%	16.44%
2	ロボット・テクノロジー関連株ファンド	2.48%	16.96%	20.71%
3	京都・滋賀インデックスファンド 愛称「京(みやこ)ファンド」	1.43%	10.39%	17.59%
4	ビクテ・グローバル・インカム株式ファンド(毎月分配型)	2.25%	9.25%	15.22%
5	ブレンドシックス	1.84%	1.18%	3.63%
6	投資のソムリエ	1.98%	1.32%	2.99%
7	新光US-REITオープン 愛称「ゼウス」	2.34%	9.74%	16.83%
8	ひふみプラス	1.52%	7.83%	16.07%
9	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	1.49%	4.26%	8.69%
10	ファイン・ブレンド(毎月分配型)	1.91%	2.54%	4.37%
11	中華圏株式ファンド(毎月分配型) 愛称「チャイワン」	2.42%	7.47%	18.97%
12	LM・オーストラリア高配当株ファンド(毎月分配型)	2.49%	5.13%	23.82%
13	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド(分配金:受取)	2.40%	6.22%	10.02%
14	netWIN GSテクノロジー株式F Bコース為替ヘッジなし	2.75%	22.31%	18.24%
15	MHAM J-REITアクティブオープン毎月決算(物件満彩)	1.65%	5.31%	14.30%
16	ニッセイ短期インド債券ファンド(毎月決算型)	2.24%	3.53%	7.51%
17	短期豪ドル債オープン(毎月分配型)	1.43%	2.13%	11.08%
18	グローバル好配当株オープン	1.85%	14.19%	15.26%
19	AB米国成長株投信Dコース毎月決算型(為替ヘッジなし)予想	2.39%	21.09%	16.06%
20	DIAMワールド・リート・インカム・オープン 世界家主倶楽部	2.29%	9.87%	18.26%
残高加重平均値		1.90%	8.63%	14.15%

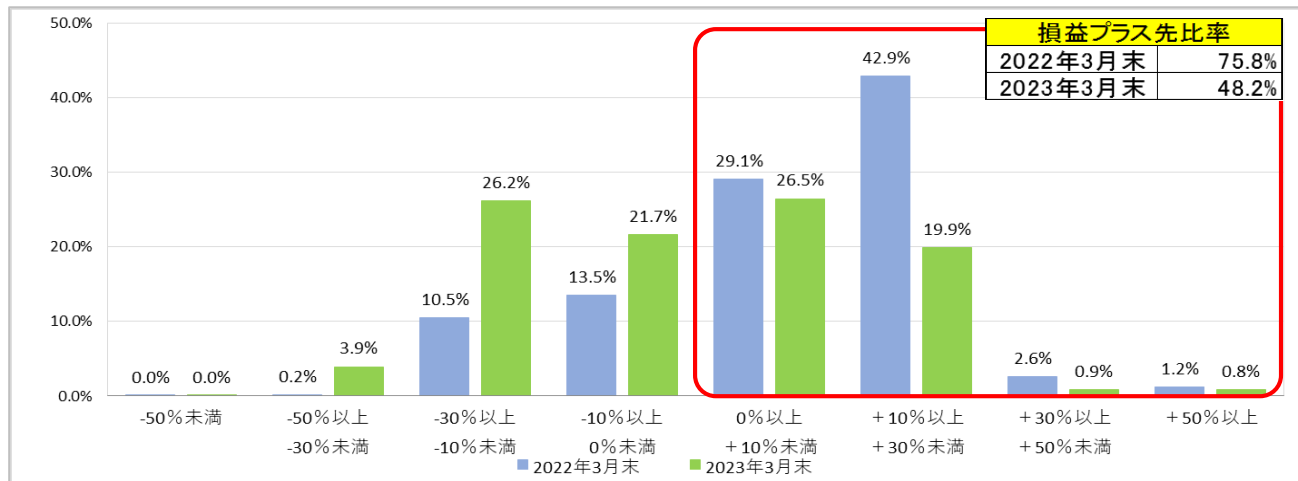
◆ 2021年3月末時点

順位	ファンド名	コスト	リターン	リスク
1	ストックインデックスファンド225	1.01%	13.31%	16.58%
2	ロボット・テクノロジー関連株-ロボテック-	2.48%	20.22%	19.38%
3	中華圏株式ファンド(毎月分配型)(愛称:チャイワン)	2.42%	11.69%	19.01%
4	京都・滋賀インデックスファンド(愛称:京(みやこ)ファンド)	1.43%	17.56%	18.22%
5	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	1.49%	5.95%	8.66%
6	新光US-REITオープン(愛称:ゼウス)	2.34%	3.70%	15.83%
7	投資のソムリエ	1.98%	2.82%	2.52%
8	ひふみプラス	1.52%	13.32%	15.38%
9	LM・オーストラリア高配当株ファンド(毎月分配型)	2.49%	3.80%	22.70%
10	ファイン・ブレンド(毎月分配型)	1.91%	1.93%	4.14%
11	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド	2.40%	6.53%	11.06%
12	MHAM J-REITアクティブオープン毎月決算コース(愛称:物件満彩)	1.65%	4.14%	13.61%
13	ニッセイ短期インド債券ファンド(毎月決算型)	2.24%	3.42%	8.59%
14	短期豪ドル債オープン(毎月分配型)	1.43%	1.07%	10.18%
15	ビクテ・グローバル・インカム株式(毎月分配)	2.25%	4.63%	13.78%
16	グローバル好配当株オープン	1.85%	11.63%	15.80%
17	東京海上・円資産バランスファンド(年1回決算型)(愛称:円委會(年1回決算型))	1.25%	0.59%	3.46%
18	ラサール・グローバルREITファンド(毎月分配型)	2.31%	2.43%	17.39%
19	三井住友・アジア・オセアニア好配当株式オープン(愛称:椰子の実)	2.40%	7.22%	16.96%
20	DIAMワールド・リート・インカム・オープン(毎月決算コース)(愛称:世界家主倶楽部)	2.29%	3.79%	17.31%
残高加重平均値		1.89%	8.77%	14.03%

基本方針 1. お客さまにとって最良の金融サービスの提供

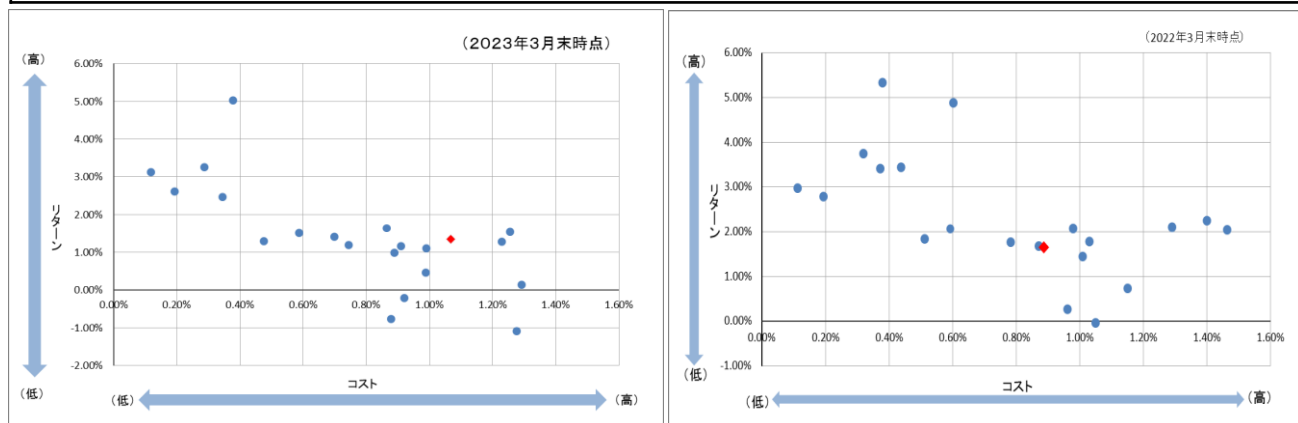
⑨外貨建保険の運用評価別お客さま比率（共通KPI）

「外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPIについて」2022年1月に金融庁が公表した定義に沿って算出しております。2023年3月末時点の外貨建保険を保有されているお客さまの運用損益プラス先比率は全体の48.2%となりました。



⑩外貨建保険の銘柄別コスト・リターン（共通KPI）

「外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPIについて」2022年1月に金融庁が公表した定義に沿って算出しております。2023年3月末時点5年以上保有している契約のうち、残高上位20銘柄の平均コスト：1.07%、平均リターン：1.35%となりました。



◆残高加重平均	コスト	リターン
	1.07%	1.35%

◆残高加重平均	コスト	リターン
	0.89%	1.65%

〈コスト・リターン定義〉

コスト：各契約の新契約手数料率と継続手数料率（支払累計）の合計値を契約期間（経過月数）で年率換算したものを、各契約の一時払保険料で加重平均

リターン：各契約の契約時点の一時払保険料に対する、基準日時点の解約返戻金額＋基準日までの既支払金額の増加率を年率換算したものを、各契約の一時払保険料で加重平均

- ✓外貨建保険は、保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約返戻金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に、契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除等により、一時払保険料を下回る場合があります。
- ✓解約返戻金は基準日時点の為替レートで円貨換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。

基本方針 1. お客様にとって最良の金融サービスの提供

(参考) 外貨建保険預り残高上位20商品

◆ 2023 月末時点

順位	保険名称	コスト	リターン
1	外貨建・エブリバディプラス	1.26%	1.54%
2	サニーガーデンEX	0.99%	1.11%
3	サニーガーデン	0.70%	1.41%
4	しあわせ、ずっと	0.91%	1.16%
5	三大陸	0.48%	1.30%
6	プレミアジャンプ	0.92%	-0.21%
7	やさしさ、つなぐ	0.88%	-0.77%
8	ロングドリームGOLD	0.74%	1.20%
9	ビーウィズユー	0.86%	1.64%
10	プレミアジャンプ・年金(外貨建)	0.99%	0.46%
11	ビーウィズユープラス	1.28%	-1.09%
12	プレミアカレンシー・プラス	0.59%	1.51%
13	シリウスプラス	0.12%	3.13%
14	シリウスハーモニー	0.19%	2.62%
15	生涯プレミアムワールド	0.38%	5.03%
16	アテナ	0.29%	3.26%
17	プレミアジャンプ3・年金(外貨建)	1.29%	0.14%
18	プレミアジャンプ2・年金(外貨建)	1.23%	1.28%
19	デュアルドリーム	0.89%	0.98%
20	プレミアカレンシー	0.35%	2.46%
加重平均		1.07%	1.35%

◆ 2022 年 3 月末時点

順位	保険名称	コスト	リターン
1	サニーガーデン	0.78%	1.77%
2	サニーガーデンEX	1.03%	1.79%
3	しあわせ、ずっと	1.01%	1.45%
4	三大陸	0.51%	1.84%
5	ロングドリームGOLD	0.87%	1.68%
6	プレミアジャンプ	1.05%	-0.04%
7	プレミアジャンプ・年金(外貨建)	1.15%	0.73%
8	ビーウィズユー	0.98%	2.08%
9	プレミアカレンシー・プラス	0.59%	2.07%
10	やさしさ、つなぐ	0.96%	0.27%
11	ビーウィズユープラス	1.40%	2.24%
12	シリウスプラス	0.11%	2.97%
13	シリウスハーモニー	0.19%	2.79%
14	アテナ	0.32%	3.75%
15	プレミアジャンプ2・年金(外貨建)	1.29%	2.10%
16	生涯プレミアムワールド	0.38%	5.34%
17	プレミアカレンシー	0.44%	3.45%
18	あんしんドル終身	0.60%	4.88%
19	ロングドリーム	0.37%	3.41%
20	デュアルドリーム	1.46%	2.05%
加重平均		0.89%	1.65%

◆ 若年層・現役世代のお客さまとの接点拡大に向けて、2022年4月よりオンライン証券のマネックス証券ならびに大和コネクト証券と新たにオンライン（非対面）による金融商品仲介サービスを開始いたしました。

(サービスイメージ)



◆ 2022年1月より、「京銀アプリ」および「京銀ダイレクトバンキング」で投資信託の新規口座開設が可能となりました。非対面取引を通じた利便性の向上にも取り組んでおります。

京銀アプリで 投信デビュー!

口座開設からお取引まで スマホひとつでかんたん!



詳しくはこちらから▶



基本方針 2. お客さまにとって分かりやすい情報の提供

<主な取組方針（アクションプラン）>

- 商品・サービスのご提案にあたっては重要情報シート等を活用し、類似商品・代替商品・サービス等を比較しながら、重要な情報の提供をわかりやすく行ってまいります。
- お客さまの保有資産の状況や市場の動向等を踏まえて、長期的な視点にも配慮した適時適切なアフターフォローを行います。
- 新しい生活様式に応じた情報発信・コンテンツの充実を図り、お客さまの投資判断に役立つ情報の提供を行い、わかりやすく、かつ丁寧に説明いたします。

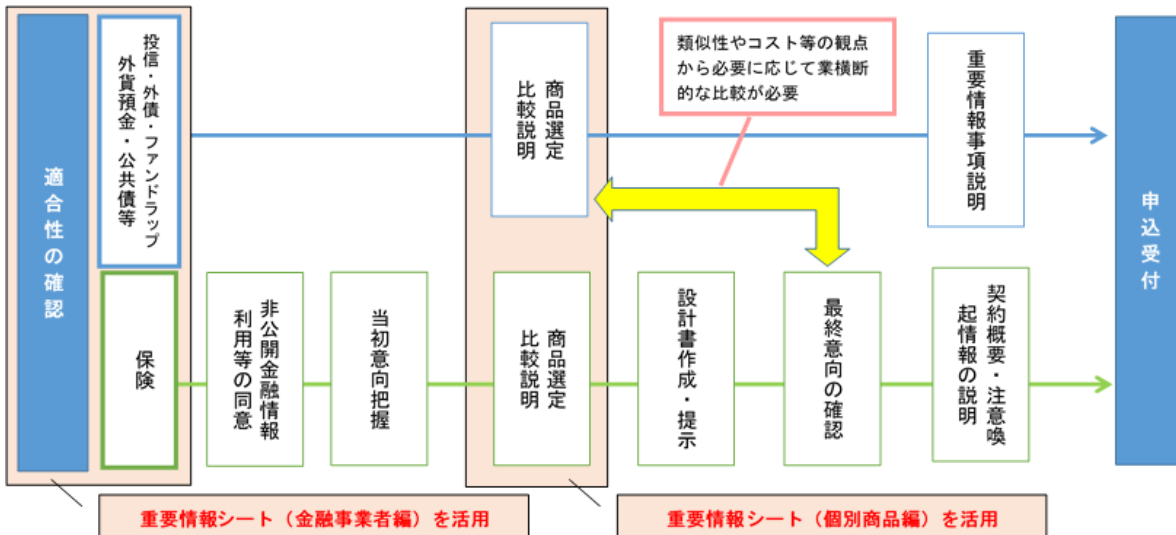
<取組状況>

- ◆各業法の枠を超えて多様な商品を比較することが容易になるように配慮した「重要情報シート」を制定し、お客さまにとってわかりやすい情報提供に努めております。
- ◆窓口で取扱う投資信託の中から約40商品を「京銀ファンドセレクション」として定性・定量性の両面で厳選し、中長期的な資産形成をサポートするご提案に努めております。
- ◆お客さまの預かり資産の状況（保有残高・評価損益等）や市場環境等をご説明し、ご不安の解消及び今後の運用方針等をご相談させていただくため、一定の基準を設けて定期的にアフターフォローを実施しております。

<重要情報シート（金融事業者編・個別商品編）>

The image displays three examples of 'Important Information Sheets' (重要情報シート) from Kyodo Bank. The first sheet is titled '京銀証券からのご案内 (重要情報シート)' and lists various services like '個別商品のご案内' and '投資信託のご案内'. The second sheet is for '京都市銀行 日米連動好況株式ファンド' and provides details about the fund's objectives and risks. The third sheet is for '京都市銀行 京銀ファンドクラブ' and describes the club's features and membership benefits. Each sheet includes a header with the bank's logo and name, and a footer with contact information.

<重要情報シートの活用イメージ>



基本方針 2. お客様にとって分かりやすい情報の提供

①お客様向けセミナー開催回数

地域社会の金融リテラシー向上に向け、コロナ禍においてはWEBセミナーを積極的に実施してまいりましたが、2020年2月以来となる対面によるセミナーも再開し、幅広いテーマにより、多くのお客様にご参加いただくことができました。地域社会の金融リテラシー向上に向けて取り組んでおります。

年度	回数
2020年度	55回
2021年度	69回
2022年度	70回

セミナーの主なテーマ

資産形成層向け	京都銀行 × 野村アセットマネジメント × QuizKnock 全国出張授業「お金を育てるキャラバン<京都府>」
資産活用層向け	京都銀行 × 京銀証券 × MORNINGSTAR 「資産運用フェア2022 in 京都」
相続・承継層向け	京都銀行 × 京都大学 特別共同セミナー「健康長寿と未来に繋ぐ社会貢献」

(参考) 桂川キャンパスにて実施したセミナー風景



(参考) アフターフォローについて

実施基準	定例	お客様の損失状況やご年齢に応じて定期的にアフターフォローを実施しております。日本証券業協会による「高齢顧客への勧誘による販売に係るガイドライン」の一部改正に伴い、新たに役席が行う「継続的状況把握」を加え、より丁寧なアフターフォローを実施しております。
	臨時	相場の急変時には市況のレポート等を用いて、丁寧な情報提供とご説明に努めております。

(参考) 京銀ファンドラップに関するフォローアップ「1・2・4・2」の取組について

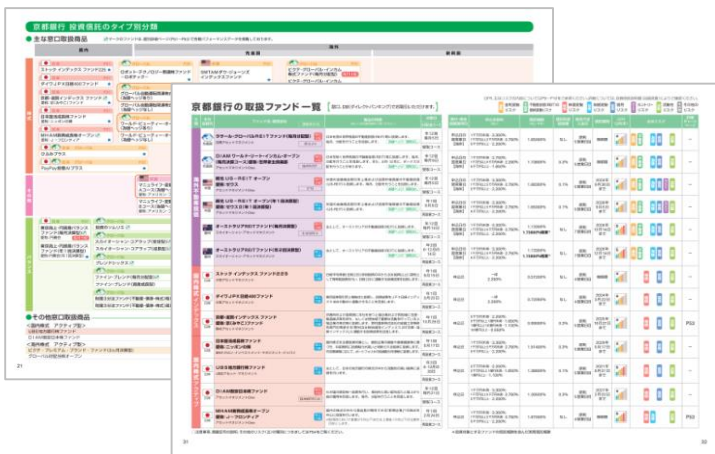
Twelve	時価評価等をきっかけに年12回の電話連絡を行います。
Four	四半期毎に郵送される定期運用報告書をきっかけに面談もしくはお電話にて、ご契約内容や運用状況のご報告を行います。
Two	年2回の面談時には必要に応じてタブレットによる運用コース診断を改めて実施し、ライフステージの変化や運用意向の再確認を行います。

基本方針 2. お客さまにとって分かりやすい情報の提供

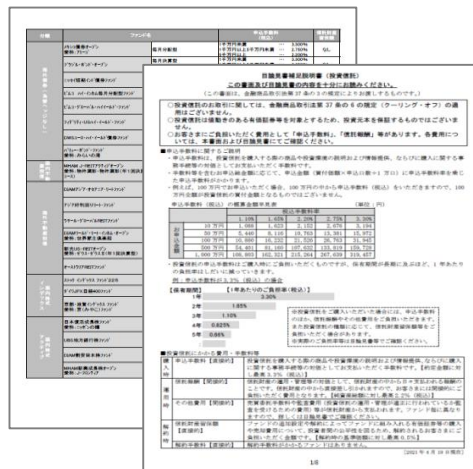
＜お客さまにとって分かりやすい説明＞

- ◆手数料に関しましては金融商品のご提供に際して、契約締結前交付書面や目論見書等を用いてわかりやすくご説明できるよう努めております。
- ◆保険商品についてはお客さまにご負担いただく費用とは別に金融商品の提供会社から販売代理店手数料を受取る場合があります、商品概要書等により明示してご説明しております。
- ◆ご高齢のお客さまがお取引をされる際は、複数の行員で対応させていただく場合やご家族のご同席をお願いさせていただく場合があります、より納得感のあるご提案をさせていただけるよう努めております。

《パンフレット》



《目論見書補足説明書》

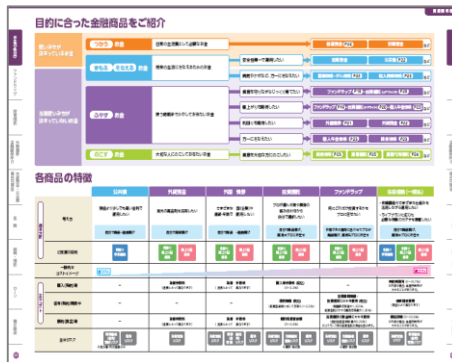
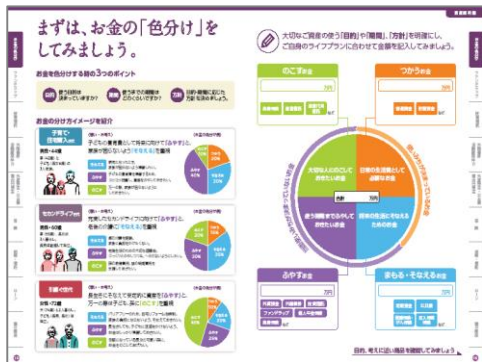


《重要事項確認書》

お申込み内容の試算結果 (実際の約定結果については別途お送りする「取引報告書」でご確認ください)			
約定金額※	円	手数料※	円
消費税※	円	合計	円
手数料率(税込)	%	※印の項目は四捨五入等の関係で実際の約定結果とは誤差が生じることがあります。	

投資信託の特徴や投資対象、手数料等について比較してお示しすることで、複数商品で比較検討しやすいよう努めております。また、投資信託の購入時は手数料率だけでなく、購入額に応じた手数料概算を実額でわかるよう明示してご説明しております。

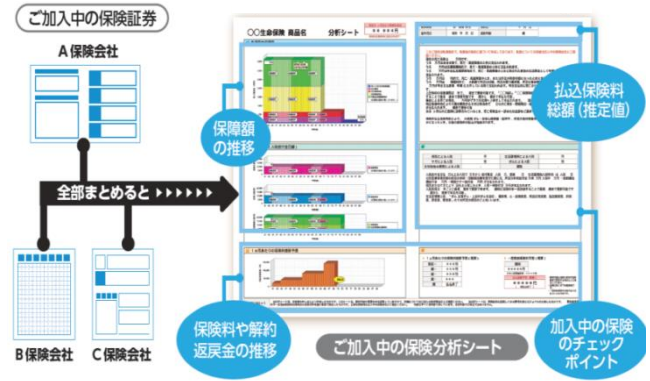
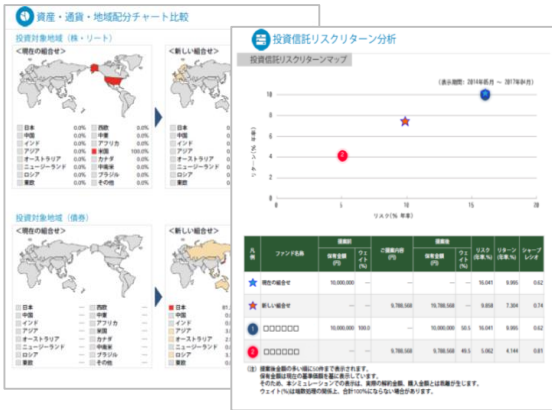
《ご意向の把握》



- ◆ご資金の使い道や目的を確認するため、お金の色分け等を行います。
- ◆リスクや手数料等について商品横断的に比較説明を行います。

《金融資産分析診断サービス》

《保険証券分析サービス》



- ◆タブレット端末の活用により、申込手続のペーパーレス化を図ることで、お客さまの利便性を高めるとともに、情報提供資料、コンテンツの充実に努めております。
- ◆お客さまが保有されている金融商品を「見える化」し、分析結果とお客さまのニーズを踏まえたご提案を行っております。
- ◆お客さまが契約されている保険証券をわかりやすく「見える化」し、分析結果をもとにご加入当初のご意向と現状に相違がないか等について、ご相談を承っております。

《相続税・贈与税試算ツール「FB-Robo」》

《金融商品に関するリスク説明動画》



- ◆相続・資産承継分野におけるコンサルティング機能の拡充を図るため、相続税・贈与税試算ツール「FB-Robo」を導入し、資産承継に向けた中長期的な支援に努めております。
- ◆金融知識・経験の浅いお客さまやご高齢の方にも重要な情報をわかりやすくご提供できるよう基礎的なリスクを説明する動画を制定し、より丁寧な説明に努めております。
- ◆京都銀行ホームページ、スマートフォン(京銀アプリ)から、投資信託や保険のご相談をさせていただける「ロボアドバイザー」の導入を行っております。



基本方針3. 利益相反の適切な管理

<主な取組方針（アクションプラン）>

- 特定の会社に偏重することがないように、新商品導入時の利益相反にかかるリスクチェックを実施いたします。
- お客さまの利益を不当に害することがないように、乗換取引等にかかるモニタリングを実施いたします。
- 外部評価機関を活用し取扱いファンドの定量・定性両面から運用状況等のモニタリングを実施いたします。

<取組状況>

- ◆当行または当行のグループ会社に係るお客さまの利益が不当に害されることのないよう、利益相反のおそれがある取引の管理を行う態勢整備を行うにあたり、具体的な対応方針をあらかじめ策定し、「利益相反管理方針」については、ホームページにて概要を公表しております。
(<https://www.kyotobank.co.jp/kojin/caution/rieki.html>)
- ◆お客さまニーズを踏まえた取引が行われているかを検証するため、対象取引の交渉経緯記録票の確認や個別ヒアリング等のモニタリングを実施しております。
- ◆外部評価機関であるM&I総研を通じて当行グループの営業戦略に応じたラインアップが整備できているか等の分析を実施いたしました。また、これらの第三者評価も考慮し、定性・定量性の両面で窓口取扱商品から約40商品を「京銀ファンドセレクション」として厳選し、お客さまにご提案しております。
- ◆仕組債の取扱いは2022年10月より銀行・証券ともに取扱いを停止しております。
(参考) 投資信託に関する管理プロセスについて

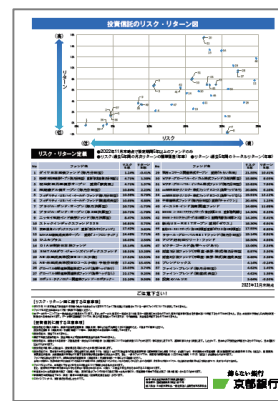
商品導入時	業務開発委員会を設置し、商品の採用可否について検討しております。 お客さまに適切な商品をお選びいただけるよう幅広い商品ラインアップを選定するとともに、導入にあたってはリスクの種類と大きさや手数料水準等の合理的根拠の適合性の検証を行っております。
年次	ウエルスアドバイザー社が取扱いファンドに対して運用実績及び運用プロセス・管理体制等の観点から5段階評価を実施し、個別商品の状況をモニタリングしております。
随時	経済環境・市場動向やモーニングスター社によるモニタリング結果も踏まえて、お客さまのニーズに適した金融商品の提供を行うために取扱商品のラインナップの整理・強化に取組んでおります。

<京銀ファンドセレクション>

京銀
ファンドセレクション
FUND SELECTION
コア運用・サテライト運用

■タイプ別分類

タイプ	銘柄	資産	運用
コア運用	①グローバル債券(海外債券)	グローバル債券(海外債券)	グローバル債券(海外債券)
	②国内債券(国内債券)	国内債券(国内債券)	国内債券(国内債券)
	③国内株式(国内株式)	国内株式(国内株式)	国内株式(国内株式)
	④海外株式(海外株式)	海外株式(海外株式)	海外株式(海外株式)
サテライト運用	①国内債券(国内債券)	国内債券(国内債券)	国内債券(国内債券)
	②国内株式(国内株式)	国内株式(国内株式)	国内株式(国内株式)
	③海外株式(海外株式)	海外株式(海外株式)	海外株式(海外株式)
	④商品(商品)	商品(商品)	商品(商品)



基本方針 4. コンサルティング機能の強化、 お客さま本位の業務運営に向けた体制整備

<主な取組方針（アクションプラン）>

- FP関連資格の取得推進及び人材育成ロードマップに基づく各種研修・スキルチェック等の実施を通じて付加価値の高いコンサルティング力向上に向けた人材育成を行います。
- お客さま本位のコンサルティング提案が実践できるよう業績評価体系の整備に取り組んでまいります。
- お客さまアンケートを通じて、お客さまの声や評価に対して真摯に向きあい、サービス向上に努めてまいります。

<取組状況>

- ◆資産運用業務担当者の育成についても育成ロードマップに基づいた研修プログラムにより、各行員のレベルアップを図っております。また、スキルチェックにより各人のスキルを可視化し、目標や課題を明確にする取組を行うと共に、スキル向上に向けて研修・自己研鑽ツールでサポートしていく体制を準備しています。
- ◆販売プロセスを評価するとともに、預かり資産残高に軸を置いた業績評価を行うことで手数料の実績に偏重しない販売体制構築に努めております。
- ◆お客さまアンケートを定期的実施し、営業態勢の整備や商品・サービスの充実に努めております。

⑫FP関連資格取得者数

2023年3月末時点の資格取得者数は2,617人となっています。うちCFP・1級FP技能士の資格取得者数は前年度より93人増加し、530人となりました。お客さまのニーズに対して最適なご提案ができるよう、行員研修の強化を図り、資格取得者の増加に取り組んでまいります。

時 期	資格取得者数※	うちCFP・1級FP技能士
2021年3月末	2,491人	318人
2022年3月末	2,573人	437人
2023年3月末	2,617人	530人

※CFP、AFP、1級・2級FP技能士の合計

「R&I顧客本位の投信販売会社評価」で
「S+」評価を取得しました

R&I（株式会社格付け投資情報センター）の投信FDは、投資信託の販売において金融機関がいかにか「顧客本位の業務運営」を実践しているかを第三者の中立的な立場から客観的に評価するものです。

当行は、今後もお客さまから信頼される金融機関を目指して、お客さまの豊かな人生設計に向けた資産形成・資産運用をサポートしてまいります。



◆デジタル・リモート取引の推進取組

リモートによる相談業務の拡大や動画等の情報提供コンテンツの充実により、新しい生活様式に対応したコンサルティング態勢の構築に努めております。

《京銀オンライン相談のご案内》

《お役立ち動画コンテンツ》

京都銀行
「ご自宅等からお気軽にご相談！」
京銀オンライン相談のご案内
無料相談 Web 会議ツール (Webex) を用いて「オンライン相談」をご利用いただけます
ご自宅等からお気軽にご相談いただけます！
STEP1 お取引店にご連絡いただきオンライン相談を行う日時をご予約
STEP2 お取引店よりオンライン相談の実施方法を案内
STEP3 おさまご自身でWebex にアクセスいただきオンライン相談実施
京都銀行 WEB セミナー

Movie
お役立ち動画コンテンツ
毎日、忙しい時間を過ごされているあなたへ、生活の中の「すきま時間」で得られるお役立ちのこと、考えてみませんか？
Movie
お役立ち動画コンテンツ
毎日、忙しい時間を過ごされているあなたへ、生活の中の「すきま時間」で得られるお役立ちのこと、考えてみませんか？
STEP1 資産運用とは？
アニメでわかる初めての資産運用
STEP2 ミライを変える資産形成とは？
動画題名：資産形成の重要性
金勘子：未来のあなたのために～人生とお金と資産形成～(動画篇)

◆お客さま本位の業務運営に向けた取組

京都銀行グループの考え方やサポート内容等をまとめたリーフレットを活用し、お客さまとの信頼関係構築に取組んでおります。

《私たち京都銀行グループの『おもい』》

おさまの豊かな人生計画に向けた資産形成のお手伝いをしたい
私たち京都銀行グループの『おもい』
京都銀行 京銀証券

おさまの豊かな人生計画に向けた資産形成のお手伝いをしたい
私たち京都銀行グループの『おもい』
おさまに納得感のある資産づくりを
いつでも、どこでも
もっと一歩わかりやすく、もっと丁寧に
おさまとの「おもい」の共有に向けて